

# 県内で学ぶメリットについて、 考えてみよう!

## 01 地元への就職率が高い!!

山口県には、基礎素材、食料品、医薬品をつくる企業が集積しており、商業・サービス産業、元気な中小企業も数多くあり、県内の学校ではこれらの企業など地元への就職率が高くなっています。

また、大学や専門学校はもとより、山口しごとセンター等でも地元就職を支援するなど、インターンシップの充実を始め、地元就職に向けたバックアップ体制が充実しています。

## 02 幅広い学びが可能!!

県内には、皆さんの学びの場となる、大学、短期大学、専門学校等の約80の教育機関があり、約3万人の学生が学んでいます。

## 03 「県内自宅生」と「東京圏(1都3県)下宿生」は、どのくらい違う!?

学生生活がスタートして必要になるのが、日々の生活費です。進学先を県内、県外にするか、自宅から通うか、一人暮らしをするかなどで状況はずいぶん異なってきます。

県内進学のための経済的メリットについて、考えてみましょう!!

年額  
約**103万円**の差

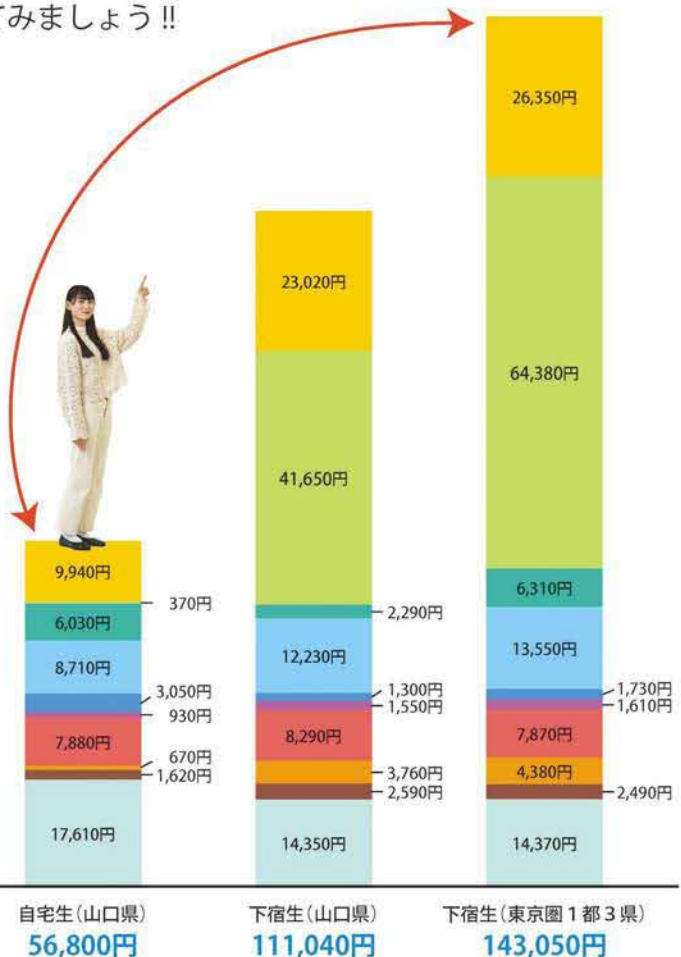
$$1,035,000円 = (143,050円 - 56,800円) \times 12月$$

### 1ヶ月の生活費

大学生協(全国大学生協連・山口大学生協)  
2022年調べ

自宅生(山口県)と下宿生(東京圏1都3県)との比較

- 食費 (外食費・自炊の材料費など)
- 住居費 (部屋代・ガス・水道・電気代など(別途振り込まれる金額を含む))
- 交通費 (定期代1ヶ月分・日常交通費など)
- 教養娯楽費 (新聞代・サークル費・交際費・レジャー費・趣味など)
- 書籍購入費 (雑誌・コミック・電子書籍を含む)
- 勉強費 (パソコン用品・文具・コピー代など)
- 日常費 (衣料品・化粧品など)
- 電話代 (固定・携帯電話の基本料金・通話料・インターネット料金など)
- その他 (上記に区分できないもの)
- 貯金・繰越



※「1ヶ月の生活費」に係る内訳の計と合計の違いは、繰越処理等による